

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2970200255
法人名	有限会社 かもん
事業所名	グループホームいまざと元気村
所在地	大和高田市今里町4-3 (電話) 0745-53-1624
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成21年1月30日

## 【情報提供票より】(21年1月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年5月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	7 人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.2 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート一部木造 造り		
	2階建ての, 1階 ~ 2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,750 円	その他の経費(月額)	15,750 円	
敷金	有( 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 100,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 950 円			

### (4) 利用者の概要(1月10日現在)

利用者人数	7 名	男性	0 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82.85 歳	最低	73 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ハートランドしぎさん、新田歯科、長澤医院
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、住宅地の中に位置し、民家改造型で、ごく自然に地域に溶け込んだ施設です。3年前に増築改装され、リビングとダイニングを一体化し、スタッフと入居者が家族のような雰囲気です。開設以来の地域との交流を積み重ねられ、また、他市にある系列のグループホームとも行事等で定期的な交流が図られる等、ホーム内に閉じこもらない社会の一員としての生活が営まれています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価では、地域密着型サービスとしての視点を運営理念に盛り込むことを課題とされていましたが、開設以来、取り組まれている地域の一員としての生活運営を反映するようホーム内で検討し、運営推進会議に提案の上、改善されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義・目的を正しく認識されており、職員全員が自己評価の機会を持って、前向きに改善への取り組みをされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	評価の意義や目的、課題とされた点と改善の取り組みの報告及び事業計画や入居者の様子等が報告されています。また、参加者からの意見や提案を受け、改善に活かされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	定期的に手紙で入居者の状況や金銭の出納状況を報告すると共に、入居者の暮らしがよくなるように写真や「元気村ニュース」も送付されています。家族が意見を出しやすい関係作りを重視し、家族会を持ち、家族間あるいは個別に声をかける等に取り組み、意見をケアの質の向上に反映するよう努力されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域自治会行事への参加、保育園との定期的な交流、広報紙の自治会回覧等、日常的に地域との連携を図られています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念を見直し、地域との交流を図り、能力に応じ自立した日常生活が送られるよう支援することをホームの理念に加えられています。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	研修・カンファレンスを通じて、職員は理念を共有し、日々のケアに実践されています。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会行事への参加、保育園との定期的な交流、広報紙の自治会回覧等、日常的に地域との交流に努められています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義・目的を正しく認識されており、評価結果は職員会議で確認検討し、改善点等について、運営推進会議に報告されています。また、職員全員が自己評価の機会を持って、前向きに改善への取り組みをされています。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、市の担当者、地域の代表者、民生委員、家族の参加の下、半年に1回開催されています。評価の意義や目的、課題とされた点と改善の取り組みの報告及び事業計画や入居者の様子等が報告されています。また、参加者からの意見や提案を受け、改善に活かされています。		運営推進会議の役割を正しく理解されていますので、今後は、さらに要望・意見等を聴く機会を増やすため、概ね2月に1回以上開催されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者の定期的な訪問等、相互に行き来し情報交換をする等連携を図りサービスの質の向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的に手紙で入居者の状況や金銭の出納状況を報告すると共に、入居者の暮らしぶりがよく分かるように写真や「元気村ニュース」も送付されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が意見を出しやすい関係作りを重視し、家族会を持ち、家族間あるいは個別に声をかける等に取り組み、出された意見をケアの質の向上に反映するよう努力されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	常勤職員を多くし、異動を最小限に抑え安定した馴染みの関係が作られています。やむを得ない異動の場合は、引継ぎ期間を十分に取り、スムーズに移行できるよう配慮されています。また、その内容を文書で報告されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の多くが、認知症基礎研修を受ける等、研修の機会が確保されています。参加者はレポートを提出し全職員に回覧し、共有化することとされています。また、資格試験の支援にも取り組み、スキルアップを目指されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部の講演やセミナー等を通じ交流されている他、系列のホームの職員とは、行事等の機会に交流されています。また、他のホームに見学に行く等交流の機会を持つ努力をされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>安心して納得しながらサービスを利用できるよう、入居にあたっては、体験入居をして、職員全員が一度は接する機会を持つ等、徐々に馴染めるよう努められています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>支援する側される側にとらわれない関わりとして、入居者の得意なことを日常生活の中で発揮出来るよう支援されている他、昔話等共感できる場面をつくり、本人と共に過ごし支えあう関係作りに努められています。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常のかかわりの中で、入居者の言動からそれとなく確認されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者本人、家族、関係者からの情報や意向を基に、全職員でカンファレンスを行い、個別具体的な計画を立てられています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的な見直し期間は半年に1回ですが、身体状況等の変化に即したプランに変更されています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者や家族の状況に応じて柔軟に通院等の支援をされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居に当たっては、協力医療機関が、継続してかかりつけ医かの意向を把握し、希望に沿った受診を支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に向かう時期が近づいた時点で、家族と面談し、方針等を受け入れ病院とも連携されています。	○	現在、重度化した場合の対応のあり方が、入居者及び家族等の大きな関心と不安のひとつであるとの認識の下、看取りについての指針を定め、ホームとしての対応を明確にし、その期待に応えられるよう検討されていますので、今後、更に深く検討を重ねられて、実施されることを期待します。
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等はロッカーに適切に保管し、個人情報の保護についても、職員に徹底するようカンファレンス等の機会ごとに確認されています。入居者への言葉かけや対応は、「人生の先輩」として、「入居者人権を尊重する」という理念を体現して、個々の入居者を尊重した関わりをされています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の散歩、買い物、弁当持参で近くの公園や神社に出かけたり、ホームの農園に収穫に行くこと等も、入居者の体調に配慮しながら気分や気持ちに合わせて支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者は自家農園で出来た野菜を、職員と一緒に下準備したり、個々の能力に応じて片づけをされています。職員も一緒に同じものを、語らいながら楽しく食事されています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週3回夕食前に設定されていますが、入居者の希望や心身の状況に沿って支援されています。	○	ホームでは、今後更に入居者の希望やタイミングに合わせて支援が出来るよう検討されていますので、速やかに実現されることを期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜の世話、食事の片付け、漬物作り等の役割やあやすと落ち着かれる方には抱き人形、さらに個別外出支援等個々の入居者に合わせた支援を心がけて支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物への同行、食事やレクリエーション、保育園児との交流等多彩な取り組みをされています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解されており、日中玄関を施錠しないよう、職員の見守りや連携を徹底し支援されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練は、消防署の協力を得て、地域の人も参加されています。また、緊急時の協力体制、緊急連絡網、消防計画書等を作成されています。また、備蓄については、食料はもちろん飲み水も確保されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による定期的なチェックを受け、栄養や水分摂取量を記録し把握されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングダイニングが一体化し、明るい空間となっており、複数のソファが置かれ入居者が思い思いに過ごせるように工夫されています。また、洗面所、浴室、トイレ等清潔に保持され、入居者が居心地良く過ごせるよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具の持ち込みは、少ないが家族と相談されて、少しずつ増やすように支援されています。また、ハンガーラックに衣類をかけて、選びやすくする等の工夫が見られます。	○	全体としてやや簡素な感じを受けますので、温もりが感じられるような工夫を検討されてはいかがでしょうか。